

たかおか

特集

塩谷会頭ら正副会頭が
高岡市に提案要望を行う

メンバーズニュース

- あそびとビル
- 染元 山本染業

経営相談 税務・労務Q&A

- 税務●災害その他やむをえない理由が生じたことにより被害を受けた場合の簡易課税制度の特例
- 労務●新型コロナウイルスの影響による勤務時間短縮・賃金の減額について

談話室 ●職場の腰痛対策に「これだけ腰痛体操」をしてみましょう



Go To Eat キャンペーン TOYAMA

Go To Eat

プレミアムお食事券
10,000円分を
8,000円で販売!

25%
プレミアム付き!

Go To Eat キャンペーン TOYAMA
食事券
1,000円
MAKE TOYAMA STYLE

2020年10/26～2021年3/31

Go To Eat キャンペーン TOYAMA

塩谷会頭ら正副会頭が

高岡市に提案要望を行う

11月4日、塩谷雄一会頭はじめ、山口正志、吉岡周、川西邦夫、菅野克志各副会頭、荻原隆夫専務理事並びに当所青年部 丸中耐会長、河合知広専務理事らが高岡市役所を訪れ、高橋正樹市長に令和3年度の市予算編成に向けた要望書を手渡し、その実現を求めた。

今回の提案要望は、重点要望6項目を含む20項目のほか、新規に青年部から観光分野の3項目を加えた全23項目。塩谷会頭は、「高岡市においては、財政健全化に取り組み厳しい財政運営の中、新型コロナウイルス感染拡大により、各種の経済対策にご尽力いただき感謝したい。商工会議所として、直面する地域の課題について議論した要望項目なので、十分に汲み取っていただき、新年度の事業計画に反映して欲しい。」と市側に要望。高橋市長は、「各分野にわたって詳細な要望をいただき感謝したい。要望内容を担当部署と協議し、新年度事業に盛り込むよう検討していきたい。青年部との意見交換会については、すぐに対応したい。」と応えた。



※Nは新規項目。要望事項については一部抜粋して掲載しています。

重点要望事項

N1. 新型コロナウイルス感染症対策の継続支援について

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が予想される中、当地域におきましても、営業活動の縮小や他地域への移動の自粛等、とりわけ企業体力に乏しい中小企業・小規模事業者の経済活動において多大なる影響が出ています。

そのような中で、国・県・高岡市におかれては、事業継続のために、助成金・補助金・融資等の様々な支援策を打ち出され、多くの事業者の救済にご尽力いただいております。しかしながら、経済悪化等の影響は、今後タイムラグとして発生することも予想され、中・長期的な支援が必要と思われます。

については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者への経済対策支援制度の継続的な支援について、格段のご配慮をお願いいたします。

- ① 新型コロナウイルス感染症に伴う補助金、給付金、融資等各種支援の継続・強化
- ② 公共工事・事業(物販、役務等含む)の早期発注及び原材料費等の価格変化を考慮した予定価格の見直し等柔軟な対応の実施
- ③ 業績が悪化する事業者への市民税・法人市民税等の

市税の猶予と減免措置の実施

2. 高岡市の財政健全化に向けた取り組みについて

3. 防災(減災)対策の強化について

近年、全国各地で地震や洪水、台風など甚大な被害が発生しています。昨年の秋の台風19号の豪雨により河川が氾濫するなど、東日本各地に大きな被害をもたらしました。また、本年7月の集中豪雨では、熊本県を中心とした九州各地で多くの死傷者、行方不明者を出すなど甚大な被害が発生しています。

高岡市においては、本年3月に最大雨量に対応した洪水ハザードマップの改訂版を策定され、すでに市民や事業所への配付をされたところです。このハザードマップによると、1000年に一度の大雨で市内のすべての河川が氾濫した場合は、ほぼ全域が浸水することになります。

については、災害発生時に市民生活や経済活動が著しく損なわれないよう、被害を最小限にとどめる減災対策を中心とした防災対策の強化に格段のご配慮をお願いいたします。

N(1) 主要河川におけるダムの機能及び堤防の強化

N(2) 適時適切な防災情報の提供

N(3) 避難場所の再チェックと十分な収容スペースの確保

N4. 第5世代移動通信システム「5G」の普及促進について

第5世代移動通信システム「5G」は、「高速・大容量」・「多数端末接続」・「低遅延」を特徴とし、IoTの普及や自動運転サポート、遠隔医療などをはじめ、様々なサービスの革新をもたらすものと期待されています。一方では、周波数帯の高い「5G」は電波の到達距離が短いこともあり、全国的にサービスが行き渡るには相

当の時間を要するとともに、基地局を整備する場所の確保が必要となります。

高岡市においては、今年度より、御旅屋通り商店街一帯において、高岡CATVと御旅屋通り商店街振興組合が共同で実施するローカル5Gを活用した高速通信空間の整備をし、新たな賑わい創出事業の試験的な取り組みを開始することになりました。

ついては、さらなるローカル5Gの導入への積極的な支援を実施されすとともに、今後の「5G」の普及促進を見据え、市有施設への優先的な基地局の設置について、格段のご配慮をお願いします。

5. 旧富山銀行本店建物の有効活用について

6. 重要文化財勝興寺を活用したまちづくりの推進について

重要文化財勝興寺は、現在、第Ⅱ期工事として進められてきた本坊等の修理が令和2年度中に完了する予定となっています。これまでの修理によって、全国の寺院建築に例がない城郭風の造りであることなど新たな発見もあり、国宝指定に向けた勝興寺のさらなる魅力向上や地域の文化財としての活用による観光振興など大きな期待が寄せられているところです。

ついては、次の事項について格段のご配慮をお願いします。

- (1) 国宝指定に向けた調査研究の拡充
- (2) 勝興寺門前の整備促進（休憩所、駐車対策等）
- (3) 勝興寺を中心とした賑わい創出事業への支援
- N (4) 勝興寺と瑞龍寺、中心市街地にある観光資源との回遊ルートの策定
- N (5) ふるさと学習の一環として市内小学生全員を対象とした見学会の実施

要望事項

〈中小企業対策〉

1. 「たかおか企業人材確保推進事業」への継続支援について
2. 「富山大学先進アルミニウム国際研究センター」の高岡市への誘致について

〈中心市街地活性化〉

3. 中心市街地の活性化について

〈地域振興対策〉

4. 首都圏における地場産品の販売支援について
5. 芸術文化の活動拠点となる大型市民ホールの設置について

〈観光対策〉

6. 観光客受入態勢の充実について
 - N (1) 旅行や飲食、イベントなど需要回復への支援
 - N (2) 市営観光施設の入場料金無料化（1年間の期間限定）
 - N (3) 着地型旅行商品の開発と造成への支援強化
 - N (4) 二次交通及びレンタサイクルの充実
 - (5) 県西部地域の主要な祭り・イベントの連携強化
 - (6) ものづくりのまちとしての産業観光の推進
 - (7) 地域観光情報の発信力強化
 - (8) 山町筋（守山町）への大型観光バスの通行規制解除
 - (9) 高岡の町の由来をしめす旧町名の復活
- N 7. 高岡古城公園（高岡城跡）を活用したまちづくり
 - (1) 景観に配慮した樹木等の剪定・整備（鳥獣被害対策を含む）・桜の植え替え
 - (2) 眺望場所の整備（土塁や石垣、自然景観）
 - (3) 散策コース、ランニングコースの整備

- (4) 保存と活用のバランスの取れた公園整備計画の策定

〈地域開発〉

8. 北陸新幹線新高岡駅への「かがやき」定期便停車と臨時便の継続・増便について
9. JR城端線と氷見線の利便性の向上について
 - (1) 氷見線・城端線の直通化
 - (2) 全駅へのICカード読み取り機の設置
 - (3) 新幹線新高岡駅との接続の改善と増便
 - N (4) LRT化の調査研究
10. 東海北陸自動車道飛騨清見IC～小矢部・砺波JCT間における4車線化の整備促進について
11. 能越自動車道高岡IC周辺の開発について
12. 伏木富山港の整備促進について
13. 道路整備の推進について

〈その他〉

14. 高峰譲吉博士の顕彰事業の充実について

高岡商工会議所青年部からの要望事項

〈観光対策〉

1. 著名な観光親善大使による地域観光情報の発信について
2. 観光商品のシリーズ化による効率的なPRについて
3. 民間と行政の連携と意見交換会の実施について

PHOTO LIBRARY



10.3

地場産センター「ZIBA」 移転オープン

新拠点で伝統工芸発信スタート

高岡地域地場産業センターが高岡市開発本町から御旅屋セリオ2階に移転オープンした。高岡銅器、高岡漆器、越中福岡の菅笠、井波彫刻、庄川挽物木地、越中和紙など県内の伝統工芸品の魅力を街中の新拠点から発信し、観光誘客や中心市街地活性化を目指す。移転を機に愛称を「ZIBA」とし、展示スペースを明るく開放的な雰囲気になし、幕開けを記念し、オープニングセレモニーが行われた他、体験会や講演会も開かれた。

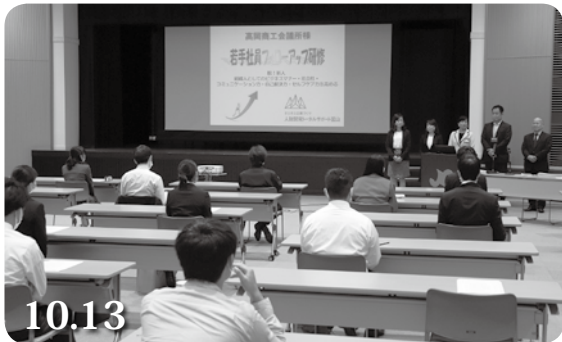


9.30 ~

販路開拓ブラッシュアップ 研究会を開催

展示商談会に向け商談力向上を目指す

展示商談会に向けて一押し商品の販売計画・営業戦略を立案し、成果を上げる展示・陳列方法や商談に必要な対応などを学ぶ販路開拓ブラッシュアップ研究会を高岡商工ビルで開催し、11社12名が参加した。研究会は11月末まで全6回開催され、参加者らは講座やロールプレイングを通して自社分析や事業計画の作成、プレゼン商品のブラッシュアップなどを行い、自社商品・サービスの魅力発信を図る。



10.13

若手社員フォローアップ研修を開催

ビジネススキルの更なる向上を目指す

今年度新規採用者及び入社3年以内の方を対象に、組織人として基本となるビジネスマナーを再確認する若手社員フォローアップ研修を高岡商工ビルで開催し、20社44名が参加した。研修では今後の後輩指導や対外活動のために必要とされる接遇の在り方や、ストレス耐性強化にもつながるセルフケア力について説明があり、参加者らは入社からこれまでを振り返りながらビジネスパーソンとしての基本スキルを学んだ。



10.6

提案型営業手法セミナーを開催

顧客獲得に繋がる営業スタイルを学ぶ

自身の営業スタイルを見直し、実践的な営業力を身に付けることを目的とした提案型営業手法セミナーを高岡商工ビルで開催し、16社32名が出席した。講師の㈱クリアストリーム・コンサルティング 代表取締役 伊藤 康雄氏からは、提案型営業のメリットや提案型営業を実践するためのマーケティング思考、営業の基本スキルについて説明があり、参加者らは実際の営業場面を想定した演習等を通じて提案型営業の手法を学んだ。

Pickup!



10.3 ~ 11

「高岡で生まれたクラフトとその現在展」が御旅屋セリオ2階特設会場で開かれ、市内作家・事業者による過去のコンペの入賞作品と現在制作している作品計83点が並んだ。今年度の展示は、「工芸都市高岡クラフトコンペ」が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、過去33回を振り返り、未来を展望する機会にしようと企画されたもの。富山大学芸術文化学部と高岡伝統産業青年会でつくる「クリエイイ党」の入選・入賞作品や今年度制作した作品47点を集めた展示や、高岡市内の小学5・6年生と中学1年生による「ものづくりデザイン科」の作品展も併せて開催された。

「高岡で生まれたクラフトとその現在展」が開催
過去入賞作品と現在の作品を展示



10.23

全商女性連総会にオンライン参加

倉敷からの生配信を視聴

今年度の全国商工会議所女性会連合会総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国各地から集まることを避け、オンライン形式での開催となり、当所女性会は倉敷から生配信される総会の様子を高岡商工ビルで視聴した。オープニングには各地女性会の写真や動画をまとめた映像が流れるなど遠隔でも一体感を感じる演出がなされ、総会では女性起業家大賞や女性会の表彰、大原美術館 理事長の大原あかね氏による記念講演が行われた。



10.19

常議員会を開催

高岡市への提案要望等について審議

令和3年度高岡市への提案要望に向けた常議員会が高岡商工ビルで開催され、要望内容等について審議された。新型コロナウイルス感染症対策の継続支援や第5世代移動通信システム「5G」の普及促進など新規重点項目を含めた全20項目の要望事項について説明があり、すべて承認された。常議員会後には、ジェイ・キャス株式会社から、富山・関西を結ぶ航空路線の開設計画についての説明会も行われた。

P H O T O
L I B R A R Y